

CA Agile Vision™

Agile Vision 統合ガイド

Spring 2010



本書及び関連するソフトウェア ヘルプ プログラム(以下「本書」と総称)は、ユーザへの情報提供のみを目的とし、CA はその内容を予告なく変更、撤回することがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複製、譲渡、複製、開示、修正、複製することはできません。本書は、CA または CA Inc. が権利を有する秘密情報であり、かつ財産的価値のある情報です。ユーザは本書を開示したり、CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に使用することはできません。

上記にかかわらず、本書に記載されているソフトウェア製品に関連して社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、該当するソフトウェアのライセンスを受けたユーザは、合理的な範囲内の部数の本書の複製を作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を各複製に添付することを条件とします。

本書のコピーを作成する上記の権利は、ソフトウェアの該当するライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザは CA に本書の全部または一部を複製したコピーをすべて CA に返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本書の使用に起因し、逸失利益、投資の喪失、業務の中断、営業権の損失、データの損失を含むがそれに限らない、直接または間接のいかなる損害が発生しても、CA はユーザまたは第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、該当するライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2010 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての商標、商号、サービスマークおよびロゴは、それぞれ各社に帰属します。

サポート

CA Agile Vision のお客様は、以下のタイプのサポートをご利用になれます。

CA Agile Vision Team Edition サポート

ユーザの便宜を図るために、CA では自己管理型の [CA ユーザ コミュニティ](#) オンライン フォーラムを提供しています。ここで、CA Agile Vision に関する情報へのアクセス、質問、他のユーザとの使用経験の共有ができます。

電子メールまたは電話でのサポートはご利用できません。コミュニティ フォーラムで報告される問題が CA サポートによってモニタされるという保証はありません。

CA 製品のドキュメントに関してコメントまたは質問がある場合は、CA ユーザ コミュニティ フォーラムで質問やフィードバックを送ることができます。

CA Agile Vision Team Edition サポート

本製品を便利にお使いいただくために、CA は Home Office、Small Business、および Enterprise CA の各製品のために必要な情報にアクセスするためのサイトを提供します。<http://www.ca.com/jp/support> では、以下の情報にアクセスできます。

- 技術的サポートおよび顧客サービスを受けるためのオンラインおよび電話の連絡先情報
- ユーザ コミュニティとフォーラムに関する情報
- 製品とマニュアルのダウンロード
- CA サポートのポリシーとガイドライン
- お使いの製品に関するその他の有用な資料

フィードバック

CA 製品のマニュアルについてのコメントや質問は、techpubs@ca.com までお願いします。

CA 製品のマニュアルについてフィードバックをお寄せくださる場合は、[Customer Survey](#) に必要な情報を入力してください。これは CA のサポート Web サイト (<http://ca.com/docs>) からアクセス可能です。CA Agile Vision Enterprise Edition をお使いのお客様は、すべてのテクニカル サポートをご利用いただけます。詳細については、[CA テクニカル サポート](#)までお問合せください。

目次

第 1 章: 概要	7
CA Clarity PPM と Agile Vision の統合について	7
同期ジョブ	7
統合の前提条件	8
第 2 章: CA Clarity PPM と Agile Vision の統合	9
Agile Vision と CA Clarity PPM を統合する方法	9
アドインをインストールする方法	10
CA Clarity PPM を Agile Vision 用に設定	18
CA Clarity PPM プロジェクトの Agile Vision への関連付け	19
Agile Vision と CA Clarity PPM 間のデータ転送をセットアップする方法	20
Agile Vision プロジェクトの統合ステータスの確認	24
プロジェクトのマッピング	25
リソースのマッピング	25
タスクのマッピング	26
タスク作業ログのマッピング	28
タスク タイプの請求コードへのマッピング	30
第 3 章: ジョブ管理	31
ジョブ サマリ	31
Agile Vision プロジェクト同期ジョブの詳細	32
Agile Vision タイムシート同期ジョブの詳細	33
付録 A: サードパーティ ライセンス契約	35
索引	39

第 1 章：概要

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Clarity PPM と Agile Vision の統合について](#) (7 ページ)

[同期ジョブ](#) (7 ページ)

[統合の前提条件](#) (8 ページ)

CA Clarity PPM と Agile Vision の統合について

Agile Vision と CA Clarity PPM を統合して使用すると、以下が同時に実現されます。

- プロジェクト マネージャに必須のガバナンスと、チーム メンバの機動性および柔軟性。
- IT 組織における Agile プロジェクトおよびリソース管理の自由度と可視性。

この統合により、Agile Vision 製品のオーナーと CA Clarity PPM 製品の管理者は以下を行うことができるようになります。

- CA Clarity PPM から Agile Vision のプロジェクトおよびリソースを作成し管理する。
- CA Clarity PPM のワーク ブレークダウン ストラクチャ(WBS) で Agile Vision タスクを表示し、従来のプロジェクトと同様にそれらについてレポート作成する。
- Agile Vision タスク作業ログを使用して、CA Clarity PPM タイムシートに自動入力する。ユーザは、Agile Vision で一度だけ時間を入力します。

同期ジョブ

CA Clarity PPM と Agile Vision 間での情報の転送では、以下の同期ジョブを使用できます。

- Agile Vision プロジェクト同期ジョブ。このジョブはプロジェクトとリソースの情報を CA Clarity PPM から Agile Vision に同期します。また、このジョブは、Agile Vision のユーザ スプリント、ユーザ ストーリー、およびタスクを使用して、CA Clarity PPM 内にプロジェクト ブレークダウン ストラクチャを作成します。
- Agile Vision タイムシートの同期ジョブ。このジョブは Agile Vision のタスク作業ログを使用して、CA Clarity PPM の対応するリソースのタイムシートに自動入力します。

統合の前提条件

Agile Vision と CA Clarity PPM を統合するには、CA Clarity Agile Enterprise アドインをインストールします。アドインをインストールする前に、以下を確認してください。

- CA Clarity PPM v12.0.6 がインストールされている。
- 必要となる Agile Vision Enterprise Edition のライセンスを取得している。

第 2 章: CA Clarity PPM と Agile Vision の統合

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Agile Vision と CA Clarity PPM を統合する方法](#) (9 ページ)

[プロジェクトのマッピング](#) (25 ページ)

[リソースのマッピング](#) (25 ページ)

[タスクのマッピング](#) (26 ページ)

[タスク作業ログのマッピング](#) (28 ページ)

[タスク タイプの請求コードへのマッピング](#) (29 ページ)

Agile Vision と CA Clarity PPM を統合する方法

Agile Vision と CA Clarity PPM 間でデータを共有するには、以下の手順に従います。

管理者:

- [CA Clarity Agile Enterprise アドインをインストールします](#) (10 ページ)。
- [CA Clarity PPM を Agile Vision 用に設定します](#) (18 ページ)。

プロジェクト マネージャ:

- [CA Clarity PPM プロジェクトを Agile Vision に関連付けます](#) (19 ページ)。
- [Agile Vision と CA Clarity PPM 間のデータ転送を設定します](#)。(20 ページ)
- [CA Clarity PPM で Agile Vision の統合ステータスを確認します](#) (24 ページ)。

アドインをインストールする方法

このセクションでは、CA Clarity PPM と Agile Vision のプロジェクトをリンクできるように、.jar ファイルから CA Clarity Agile Enterprise アドインをインストールするための手順を説明します。これらの手順は、CA Clarity アプリケーション サーバ上で完了させます。アドインをインストールする前に、必要となる CA Clarity PPM のバージョンがインストールされていることを確認してください。

重要: 旧バージョンの CA Clarity PPM からアップグレードする場合、アップグレード後の CA Clarity PPM のバージョン用にリリースされたアドインを再インストールする必要があります。アドインをインストールする前に、アドインが更新するすべてのアクティブなプロセス インスタンスに対して以下が実行されていることを確認してください。

- プロセス インスタンスのキャンセル。
- プロセス インスタンスの削除。
- プロセスの定義を[ドラフト]モードにする。

注: プロセスおよびプロセス インスタンスの詳細な管理方法については、「CA Clarity PPM 管理ガイド」を参照してください。

CA Clarity PPM サーバでのアドインのインストール方法の詳細は、以下のとおりです。

1. [.iso イメージ ファイルのダウンロード](#) (10 ページ)。
2. [.jar ファイルの抽出](#) (11 ページ)。
3. [サービスの停止](#) (12 ページ)
4. [アドインのインストール](#) (14 ページ)。
5. [サービスの起動](#) (14 ページ)
6. (既存のアドイン インストールのみ)。 [アドインの適用](#) (16 ページ)。

.iso イメージ ファイルをダウンロードする

すべてのアドインは .iso イメージ ファイルとして提供されます。 .iso イメージ ファイルには、.jar ファイルが含まれています。 .jar ファイルには、アドインをインストールするために必要なファイルが含まれています。 インストーラによって、新しくダウンロードされたファイルで既存の CA Clarity PPM インストールが更新されます。

.iso イメージ ファイルをダウンロードするには、support.ca.com にアクセスし、.iso イメージをマシンまたはアクセス可能なネットワーク上の場所にダウンロードします。

UNIX を使用した .iso イメージ ファイルのマウント

多くの UNIX プラットフォームでは、一部のプラットフォーム DVD デバイス ドライバに含まれている DVD エミュレーションを通して .iso イメージ ファイルを直接使用できます。Linux システムでは、.iso ファイル システム ドライバにマウントすることによって .iso イメージを使用できます。

UNIX を使用して .iso イメージ ファイルをマウントするには、コマンド プロンプトを開いて以下のようなコマンドを発行します。

```
mount -t .iso9660 -o ro,loop,dev filename.iso /mnt/CAcd
```

このコマンドにより、.iso イメージ ファイル(filename.iso)が /mnt/CAcd マウント ポイントにマウントされます。これにより、/mnt/CAcd ディレクトリを通して DVD の内容にアクセスできるようになります。

DVD への .iso イメージ ファイルの書き込み

.iso イメージ ファイルは DVD イメージになっていて、元になった DVD の正確なバイナリ コピーが含まれています。プラットフォームに応じて、これらのファイルから CA 製品の DVD を作成することも、元の形式でそのまま使用することもできます。

CA 製品の DVD を再作成するには、DVD ライターおよびマスタリング ソフトウェアが必要です。DVD 作成アプリケーションのほとんどは、フォーマット済み .iso イメージ ファイルを受け付けて、その ISO イメージのコンテンツを DVD へ書き込めるようになっています。この手順では、CA 製品 DVD の正確なコピーを作成します。

注: DVD に .iso イメージ ファイルを書き込む方法の詳細については、DVD ライターに付属しているドキュメントを参照してください。

注: Windows および WinZip はいずれも .iso ファイル形式を認識しません。Windows でインストール ファイルへアクセスするには、DVD ライターを使用して、.iso イメージ ファイルを記録した DVD を作成するか、または .iso イメージ ファイルの抽出プログラムとして IsoBuster や Undisker のようなサードパーティ ソフトウェア プログラムを使用する必要があります。DVD を作成しない場合は、.iso 抽出プログラムを使用して .iso イメージ ファイルをローカル ファイル システムに抽出します。

JAR ファイルを抽出する

.iso イメージ ファイルにアクセスしたら、インストール プロセスを完了する CA Clarity アプリケーション サーバ上の一時ディレクトリに .jar ファイルを抽出します。

.jar ファイルには次のファイルが含まれます。

```
install.sh
```

Unix インストール スクリプト。

install.bat

Windows インストール スクリプト。

install.xml

Ant インストール スクリプト。

package

更新されたファイルのディレクトリ。

tools

サポートファイルのディレクトリ。

.jar ファイルを一時ディレクトリに抽出する方法

1. コマンド プロンプトを開き、次のコマンドを発行します。

Windows の場合:

```
jar -xvf <ファイル名>
```

Unix の場合:

```
jar -xvf <_ファイル名
```

これらのコマンドにより、.jar ファイルがある場所と同じ場所に .jar ファイルのコンテンツが抽出されます。

2. UNIX 環境の場合、次のコマンドを発行します。

```
chmod +x install.sh
```

これにより、インストール スクリプトの実行特権が付与されます。

サービスの停止

アドインを適用する前に、CA Clarity Application (app) および CA Clarity Background (bg) サービスを停止する必要があります。 CA Clarity PPM にアドインを適用したら、CA Clarity System Administration からそれらを再起動します。

以下のセクションでは、さまざまなサーバ構成でサービスを停止する方法について説明します。

重要: CA Clarity システム管理 (nsa)、データベース (db)、Beacon、およびレポート (レポート) サービス がサーバで展開されている場合、それらを停止しないでください。

Apache Tomcat を使用しているサービスの停止

CA Clarity アプリケーション サーバとして Apache Tomcat を使用する設定で CA Clarity アプリケーション (app) サービスおよび CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスを停止するには、以下を実行します。

サービスを停止するには、以下の手順に従います。

1. CA Clarity システム管理にログインします。
[概要] ページが表示されます。
2. [ホーム] メニューから [すべてのサービス] を選択します。
[すべてのサービス] ページが表示されます。
3. CA Clarity アプリケーション (app) および CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスのチェック ボックスをオンにします。
4. [停止] をクリックします。

BEA WebLogic/IBM WebSphere を使用しているサービスの停止

アプリケーション サーバとして BEA WebLogic または IBM WebSphere を使用する構成内の app と bg サービスを停止するには、次の手順を実行します。

サービスを停止する方法

1. CA Clarity システム管理にログインします。
[概要] ページが表示されます。
2. [ホーム] メニューから [すべてのサービス] を選択します。
[すべてのサービス] ページが表示されます。
3. CA Clarity アプリケーション (app) および CA Clarity バックグラウンド (bg) のチェック ボックスをオンにします。
4. [停止] をクリックします。
5. アプリケーション サーバの管理コンソールを使用して、CA Clarity システム管理およびアプリケーションを停止します。

注: 詳細については、J2EE ベンダーのドキュメントを参照してください。

アドインのインストール

以下の手順により、オブジェクト、レポート、およびデータベースに更新をインストールします。

重要: このアドインをインストールする前に、CA Clarity PPM インストールをバックアップし、必要に応じてアプリケーションを前のバージョンに復元できるようにします。アドインをインストールするとき、プロジェクトなどの CA Clarity PPM 標準オブジェクトのカスタマイズされたビューを上書きできます。ユーザの組織でビューをカスタマイズしている場合は、アドインを実稼働環境にインストールする前に、テスト環境でインストールを実施し、結果を注意深く検討する必要があります。アドインをインストールすると、アンインストールすることはできません。

アドインをインストールするには、以下の手順に従います。

1. .jar ファイルを抽出したディレクトリ位置でコマンド プロンプト ウィンドウを開き、次のコマンドを発行します。
`install`
2. Enter キーを押します。
インストールの処理が開始します。
3. 画面上の指示に従って、アドインのインストールを実行します。

サービスの起動

アドインを適用する前に CA Clarity アプリケーション(app)および CA Clarity バックグラウンド(bg)サービスを停止して、アドインを適用した後に再起動する必要があります。これは、CA Clarity システム管理から行います。

以下のセクションでは、さまざまなサーバ構成でサービスを開始する方法について説明します。

Apache Tomcat を使用しているサービスの開始(単一サーバの場合)

CA Clarity アプリケーション サーバとして、すべてのサービスが単一のサーバ上で実行される Apache Tomcat を使用する設定で CA Clarity アプリケーション(app)サービスおよび CA Clarity バックグラウンド(bg)サービスを開始するには、以下を実行します。

サービスを開始するには、以下の手順に従います。

1. CA Clarity システム管理にログインします。
[概要]ページが表示されます。
2. [ホーム]メニューから[すべてのサービス]を選択します。
[すべてのサービス]ページが表示されます。
3. CA Clarity アプリケーション(app)および CA Clarity バックグラウンド(bg)サービスのチェック ボックスをオンにします。
4. [開始]をクリックします。

Apache Tomcat を使用しているサービスの開始(複数サーバの場合)

以下の手順を実行して、Apache Tomcat を CA Clarity アプリケーション サーバとして使用する設定で、CA Clarity アプリケーション(app)および CA Clarity バックグラウンド(bg)サービスを開始します。ここで、すべてのサービスは複数のサーバ間で配布されます。

サービスを開始する方法

1. CA Clarity システム管理にログインします。
[概要]ページが表示されます。
2. [ホーム]メニューで[すべてのサービス]をクリックします。
[すべてのサービス]ページが表示されます。
3. リモートの app および bg サービスがあればシャットダウンします。
4. [配布]メニューで[すべて配布]をクリックします。
[すべて配布]ページが表示されます。
5. リモート サーバを選択し、[配布]をクリックします。配布が完了するまで待ちます。
6. [ホーム]メニューから[すべてのサービス]を選択します。
[すべてのサービス]ページが表示されます。

7. CA Clarity アプリケーション(app) および CA Clarity バックグラウンド(bg) サービスのチェック ボックスをオンにします。
8. [開始]をクリックします。

BEA WebLogic/IBM WebSphere を使用しているサービスの開始

CA Clarity アプリケーション サーバとして BEA WebLogic または IBM WebSphere を使用する設定で CA Clarity アプリケーション(app) および CA Clarity バックグラウンド(bg) サービスを開始するには、以下を実行します。

サービスを開始するには、以下の手順に従います。

1. CA Clarity システム管理にログインします。
[概要]ページが表示されます。
2. [インストール]メニューから[インストールとアップグレード]を選択します。
[インストールとアップグレード: データベース]ページが表示されます。
3. コンテンツ メニューから[パッケージ アプリケーション EAR]をクリックします。
[インストールとアップグレード: パッケージ EAR]ページが表示されます。
4. [パッケージの作成]をクリックします。
アプリケーションで、パッケージと niku.ear を作成します。
5. J2EE アプリケーション サーバの管理コンソールを使用して、(niku.ear)パッケージを展開します。

アドインの適用

すでにアドインがインストール済みで、現在のアドイン バージョンをアップグレードしている場合、新しい項目または変更済みの項目のどちらをアドインに適用するかを選択して、適用する必要があります。

[スタジオ]リストの[アドイン詳細]ページには、アドインに含まれているすべての項目、つまりポートレット、ページ、クエリ、ルックアップ、タブ、およびレポートが一覧表示されます。このページを使用して、これらの項目を適用します。

既定では、システムで選択されるのは、現在のアドイン バージョンへのアップグレード時の新規または変更項目のみです。しかし、適用する項目を選択または選択解除できます。

新規項目とは、このアドイン バージョンで新しく登場したもの、または前のバージョンでインストールしなかった項目です。これらの項目のステータスは、「インストールされていません」と表示されていました。

変更項目とは、CA Clarity PPM に適用された項目です。項目への変更は、現在のバージョンに含まれます。これらの項目のステータスは、「更新が必要」と表示されます。適用する項目を選択または選択解除できます。

重要: 変更項目を適用する前に、既存の項目を設定していないことを確認します。カスタマイズされている場合は、そのような項目は適用してはいけません。変更済み項目を既存の項目に適用すると、設定したものが上書きされます。

アドイン項目を適用するには、以下の手順に従います。

1. CA Clarity PPM にログインし、管理ツールを開きます。
[管理ホーム]ページが表示されます。
2. CA Clarity スタジオ メニューから[アドイン]を選択します。
[アドイン]ページが表示されます。
3. 項目を適用するアドインの名前をクリックします。
[アドイン詳細]ページが表示されます。
4. 各選択済み項目を見直して、必要な変更のみを適用します。選択された項目のみが更新されます。
5. [適用]をクリックします。

注: 選択済み項目に他の項目への依存関係がある場合、それらの依存関係も更新されます。

更新された項目のリストが、[アドイン更新またはインストールの確認]ページに表示されます。

6. 以下のいずれかを実行します。
 - 項目を更新またはインストールするには、[はい]をクリックします。
注: [アドイン更新またはインストールの確認]ページのリストに以前変更した項目がある場合は、その項目を発行して、変更が見えるようにしておく必要があります。
注: ポートレット、ページ、およびビューなどの設定済み項目を発行する方法の詳細については、「Studio 開発者ガイド」を参照してください。
 - プロセスをキャンセルするには、[いいえ]をクリックします。

CA Clarity PPM を Agile Vision 用に設定

CA Clarity PPM を Agile Vision にリンクさせるには、以下の手順に従います。

CA Clarity PPM を Agile Vision 用に設定する方法

1. CA Clarity PPM にログインし、[管理ツール]にアクセスします。
2. [一般設定]メニューから[Agile Vision のセットアップ]を選択します。
Agile Vision の管理設定ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力し、[保存]をクリックします。

ユーザ名

システム管理者の権限で Agile Vision にログインするためのユーザ名を定義します。

パスワード

システム管理者の権限で Agile Vision にログインするためのパスワードを定義します。

セキュリティ トークン

ログインが失敗した場合、または信頼されていないネットワークから CA Clarity PPM サーバを実行している場合に、サーバの識別に使用するセキュリティ トークンを定義します。このトークンは、SalesForce.com (SFDC)の「Personal Setup」ページから取得できます。詳細については、SalesForce.com のオンライン ヘルプを参照してください。

プロキシ ホスト名

プロキシ サーバのホスト名を定義します。

プロキシ ポート

プロキシ サーバのポートを定義します。

プロキシ ユーザ名

プロキシ サーバのユーザ名を定義します。

プロキシ パスワード

プロキシ サーバのパスワードを定義します。

CA Clarity PPM プロジェクトの Agile Vision への関連付け

CA Clarity PPM と Agile Vision 間で情報を共有するには、CA Clarity PPM のプロジェクトを Agile Vision に関連付ける必要があります。関連付けを完了すると、CA Clarity PPM 内で Agile Vision のサブページを利用できるようになります。ここでは、Agile Vision プロジェクトの詳細を指定できます。

後でこの CA Clarity PPM プロジェクトを削除した場合、別のプロジェクトを同じ Agile Vision リリースにリンクすることはできません。ユーザは、新しい CA Clarity PPM プロジェクトを別の Agile Vision リリースにリンクし、ユーザ ストーリーとタスクを、この新たにリンクしたリリースに移動することができます。

CA Clarity PPM プロジェクトを Agile Vision にリンクする方法

1. CA Clarity PPM にログインします。
2. [ポートフォリオ管理]メニューから[プロジェクト]を選択します。
[プロジェクト リスト] ページが表示されます。
3. 既存のプロジェクトを開くか、または[新規]をクリックして、プロジェクトを作成します。
プロジェクトのプロパティ ページまたは作成ページが表示されます。
4. [保存]をクリックします。
5. [Agile Vision にリンク済み]チェック ボックスをオンにします。

Agile Vision と CA Clarity PPM 間のデータ転送をセットアップする方法

Agile Vision と CA Clarity PPM 間のデータ転送をセットアップするには、Agile Vision と関連付ける CA Clarity PPM プロジェクトで、Agile Vision プロジェクトの詳細を指定します。以下のいずれかを実行します。

- [CA Clarity PPM から Agile Vision プロジェクトまたはリリースを作成します](#) (21 ページ)。
- [CA Clarity PPM から既存の Agile Vision プロジェクトおよびリリースにリンクします](#) (22 ページ)。
- [CA Clarity PPM から既存の Agile Vision プロジェクト内に Agile Vision リリースを作成します](#) (23 ページ)。

CA Clarity PPM と Agile Vision 間でプロジェクトをリンクする際は、以下のルールが適用されます。

- プロジェクト ID およびリリース名を指定し、リリース ID は空白にした場合、指定したプロジェクトの新しいリリースが Agile Vision に作成されます。
- プロジェクトと、リリース ID およびリリース名の両方を指定した場合、リリース名は無視され、リリース ID を使用して、既存の Agile Vision プロジェクトとリンクされます。
- プロジェクトまたはリリースを作成すると、CA Clarity PPM プロジェクトの説明が、Agile Vision のプロジェクトまたはリリースの説明として追加されます。Agile Vision のスーパー ユーザはこの説明を変更できます。変更した説明は CA Clarity PPM によって上書きされません。
- すべてのフィールドを空白にすると、同期ジョブが失敗し、Agile Vision での新規作成またはリンクは行われません。

ベスト プラクティス: CA Clarity PPM プロジェクトを Agile Vision にリンクする場合は、以下を確認します。

- 工数タスクの自動作成のオプションがオフになっている。
- 現在、CA Clarity PPM プロジェクトにタスクが存在しない。

CA Clarity PPM から Agile Vision プロジェクトおよびリリースを作成

CA Clarity PPM プロジェクトでプロジェクト名およびリリース名を指定することにより、Agile Vision プロジェクトおよびリリースを作成します。プロジェクト ID およびリリース ID は定義しません。

CA Clarity PPM から Agile Vision プロジェクトおよびリリースを作成する方法

1. CA Clarity PPM で、Agile Vision と関連付けるプロジェクトを開きます。

プロジェクトのプロパティが表示されます。

2. コンテンツ メニューから[Agile Vision]をクリックします。

Agile Vision のプロパティ ページが表示されます。

3. 以下のフィールドに入力します。

Agile Vision プロジェクト名

作成する新しい Agile Vision プロジェクトの名前を定義します。

Agile Vision リリース名

作成する新しい Agile Vision リリースの名前を定義します。

プロジェクト プレフィクス

ユーザ ストーリーおよびタスクのプロジェクト名に追加する、一意のプレフィクスを定義します。プロジェクトの作成後に、プレフィクスを変更することはできません。

制限: 6 文字

4. 変更結果をサブミットします。

Agile Vision プロジェクト同期ジョブが実行されると、CA Clarity PPM の以下のフィールドに値が自動的に入力され、Agile Vision では新しいリリースとプロジェクトが作成されます。

Agile Vision プロジェクト ID

Agile Vision プロジェクト ID が表示されます。この値は、Agile Vision から自動的に取得されます。

ソース: Agile Vision の[プロジェクト詳細]ページの[プロジェクト ID]フィールド。

Agile Vision リリース ID

Agile Vision リリース ID が表示されます。この値は、Agile Vision から自動的に取得されます。

ソース: Agile Vision の[リリースの詳細]ページの[リリース ID]フィールド。

CA Clarity PPM から既存の Agile Vision プロジェクトおよびリリースへのリンク

CA Clarity PPM プロジェクトでプロジェクト ID およびリリース ID を指定して、既存の Agile Vision プロジェクトおよびリリースにリンクします。プロジェクト名、リリース名およびプレフィックス値は定義しません。

CA Clarity PPM から既存の Agile Vision プロジェクトおよびリリースにリンクする方法

1. CA Clarity PPM で、Agile Vision と関連付けるプロジェクトを開きます。

プロジェクトのプロパティが表示されます。

2. コンテンツ メニューから[Agile Vision]をクリックします。

Agile Vision のプロパティ ページが表示されます。

3. 以下のフィールドに入力します。

Agile Vision プロジェクト ID

Agile Vision の既存プロジェクトのプロジェクト ID を定義します。この値は、このプロジェクトを既存の Agile Vision プロジェクトにリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース: Agile Vision の[プロジェクト詳細]ページの[プロジェクト ID]フィールド。

Agile Vision リリース ID

Agile Vision の既存リリースのリリース ID を定義します。この値は、このプロジェクトを既存の Agile Vision リリースにリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース: Agile Vision の[リリースの詳細]ページの[リリース ID]フィールド。

4. 変更結果をサブミットします。

Agile Vision プロジェクト同期ジョブが実行されると、CA Clarity PPM の以下のフィールドに 値が自動的に入力されます。

Agile Vision プロジェクト名

Agile Vision のプロジェクト名が表示されます。この値は、Agile Vision から自動的に取得します。

ソース: Agile Vision の[プロジェクト詳細]ページの[プロジェクト名]フィールド。

Agile Vision リリース名

Agile Vision のリリース名が表示されます。この値は、Agile Vision から自動的に取得します。

ソース: Agile Vision の[リリースの詳細]ページの[リリース名]フィールド。

プロジェクト プレフィクス

Agile Vision プロジェクトでの、ユーザ ストーリーおよびタスクのプレフィクスが表示されます。

ソース: Agile Vision の[プロジェクト詳細]ページの[プロジェクト プレフィクス]フィールド。

既存の Agile Vision プロジェクトで Agile Vision リリースを作成

CA Clarity PPM プロジェクトで Agile Vision プロジェクト ID およびリリース名を指定し、既存の Agile Vision プロジェクトに Agile Vision リリースを作成します。リリース ID、プロジェクト名、およびプレフィクス値は定義しません。

既存の Agile Vision プロジェクトで Agile Vision リリースを作成する方法

1. CA Clarity PPM で、Agile Vision と関連付けるプロジェクトを開きます。
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. コンテンツ メニューから[Agile Vision]をクリックします。
Agile Vision のプロパティ ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。

Agile Vision プロジェクト ID

Agile Vision の既存プロジェクトのプロジェクト ID を定義します。この値は、このプロジェクトを既存の Agile Vision プロジェクトにリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース: Agile Vision の[プロジェクト詳細]ページの[プロジェクト ID]フィールド。

Agile Vision リリース名

作成する新しい Agile Vision リリースの名前を定義します。

4. 変更結果をサブミットします。

Agile Vision プロジェクト同期ジョブが実行されると、CA Clarity PPM の以下のフィールドに 値が自動的に入力されます。

Agile Vision リリース ID

Agile Vision リリース ID が表示されます。この値は、Agile Vision から自動的に取得されます。

ソース: Agile Vision の[リリースの詳細]ページの[リリース ID]フィールド。

Agile Vision プロジェクト名

Agile Vision のプロジェクト名が表示されます。この値は、Agile Vision から自動的に取得します。

ソース: Agile Vision の[プロジェクト詳細]ページの[プロジェクト名]フィールド。

プロジェクト プレフィクス

Agile Vision プロジェクトでの、ユーザ ストーリーおよびタスクのプレフィクスが表示されます。

ソース: Agile Vision の[プロジェクト詳細]ページの[プロジェクト プレフィクス]フィールド。

Agile Vision プロジェクトの統合ステータスの確認

CA Clarity PPM プロジェクトを Agile Vision にリンク後、Agile Vision プロパティ ページで統合ステータスを確認します。統合が成功している場合、Agile Vision と CA Clarity PPM 間でデータが転送されます。統合が成功していない場合、以下のような原因が考えられます。

- Agile Vision 管理者セットアップ ページ上の SFDC または Agile Vision の認証情報が間違っている。
- SFDC ネットワークがダウンしている。
- 入力した Agile Vision プロジェクトまたはリリース ID が間違っている。
- 作成しようとしている Agile Vision プロジェクトがすでに存在する。
- Agile Vision リリースが、すでに別の CA Clarity PPM プロジェクトにリンクされている。

いずれかの情報の入力間違っている場合、正しい値を再入力して、Agile Vision プロジェクト同期ジョブを実行し、統合を再度試行してください。

Agile Vision 統合ステータスを確認する方法

1. CA Clarity PPM でプロジェクトを開き、コンテンツ メニューから[Agile Vision]をクリックします。

Agile Vision のプロパティ ページが表示されます。

2. 以下のフィールドの情報を確認します。

同期ステータス

Agile Vision のプロジェクト同期ジョブのステータスを表示します。ステータスは、成功、保留、失敗のいずれかです。

同期の詳細情報

前回実行した日時などのジョブ ステータスの詳細が表示されます。ジョブが失敗した場合、発生したエラーの詳細が表示されます。

プロジェクトのマッピング

CA Clarity PPM プロジェクトを Agile Vision プロジェクトにリンクしている場合、これらのプロジェクトを Agile Vision 内から表示して作業することができます。プロジェクトのリンク後、CA Clarity PPM でプロジェクトの日付を更新すると、Agile Vision 内でリリース日が自動的に更新されます。

以下の表は、Agile Vision のプロジェクトおよびリリースのフィールドと CA Clarity PPM のプロジェクトのフィールドのマッピングの関係を示しています。

Agile Vision フィールド	CA Clarity PPM フィールド
プロジェクト名	Agile Vision プロジェクト名
プロジェクト ID	Agile Vision プロジェクト ID
リリース名	Agile Vision リリース名
リリース ID	Agile Vision リリース ID
開始日 (リリース)	開始日 (プロジェクト)
リリース日 (リリース)	終了日 (プロジェクト)

リソースのマッピング

統合した CA Clarity PPM プロジェクトのプロジェクト チームにリソースを追加すると、既存の Salesforce.com (SFDC) ユーザ アカウントを持たないユーザが新しい SFDC アカウントとして作成され、Agile Vision ユーザとして追加されます。既存の Salesforce.com ユーザ アカウントを持つリソースは、Agile Vision ユーザとして追加され、CA Clarity PPM プロジェクトにリンクされます。

リソースがすでに SFDC アカウントを持つかどうかの判別には、リソースの従業員番号と電子メール アドレスが使用されます。

新規ユーザは、SFDC にログインするためのユーザ ID とパスワードが記載された電子メール通知を受信します。ユーザ ID には、日付が追加されたユーザの電子メール アドレスが使用されます。ユーザはこの情報によりログインして Agile Vision にアクセスし、パスワードを変更します。CA Clarity PPM プロジェクトにリンクされる、各 Agile Vision ユーザの一意の SFDC アカウントに、Agile Vision Enterprise Edition ライセンスが必要です。

リソースのマッピング

以下の表には、CA Clarity PPM と Agile Vision 間のリソース フィールドのマッピング関係が示されています。

Agile Vision フィールド	CA Clarity PPM フィールド
名	名
姓	姓
電子メール アドレス	電子メール
ユーザ名	日付が追加された電子メール アドレス(例: firstname.lastname@ca.com.030610)

リソースの削除

リンクしたリソースが CA Clarity PPM で削除された場合、そのリソースは、Agile Vision の統合プロジェクトからも削除されます。それらのリソースは、CA Clarity PPM にリンクされたユーザ ストーリーおよびタスクに時間を記録したり、割り当てたりすることはできなくなります。これらのユーザは、Agile Vision 内で非アクティブにすることができます。

タスクのマッピング

タスクで構成されるユーザ ストーリーを作成し、Agile Vision リリースのスプリントに割り当てると、リンクされた CA Clarity PPM プロジェクト内にタスクが自動的に作成されます。CA Clarity PPM プロジェクト タスクのワーク ブレークダウン ストラクチャは、以下のように構築されます。

- 割り当てられるユーザ ストーリーは、スプリントごとにグループ化されます。
- 割り当てられないユーザ ストーリーは、未スケジュール タスクとしてグループ化されます。
- タスクは、関連付けられるユーザ ストーリーごとにグループ化されます。

タスクの更新

Agile Vision 内でタスクに加えたすべての変更は、CA Clarity PPM 内で自動的に反映されます。たとえば、タスクの担当者が変更されると、その変更は CA Clarity PPM でも反映されます。Agile Vision で見積もり時間と担当者を削除すると、CA Clarity PPM のタスクでも ETC と担当者が削除されます。

タスクの削除

Agile Vision のスプリントを削除すると、統合されたスプリント タスクが CA Clarity PPM でも削除されます。このスプリント タスクのサブタスクは、以下に従って再度グループ化されます。

- 親ユーザ ストーリーがスプリントに割り当てられていない場合、サブタスクは未スケジュール タスクにグループ化されます。
- 親ユーザ ストーリーが新しいスプリントに割り当てられている場合、サブタスクはその新しいスプリント タスクにグループ化されます。

Agile Vision で、いずれかのタスクに実績値があるユーザ ストーリーを削除した場合、ユーザ ストーリー タスクおよびそのサブタスクは CA Clarity PPM の削除済みタスクグループにロール アップされます。いずれのタスクにも実績値がない場合、ユーザ ストーリータスクとそのサブタスクは CA Clarity PPM から削除されます。

タスクのマッピング

以下の表には、Agile Vision のスプリント、ユーザ ストーリー、およびタスクの情報がどのように使用されて、CA Clarity PPM ワーク ブレークダウン ストラクチャのフィールドおよび値として入力されるかが示されています。

Agile Vision フィールド/値	CA Clarity PPM フィールド/値
<ul style="list-style-type: none"> ■ スプリント名 ■ ユーザ ストーリー タイトル ■ タスク タイトル 	タスク
担当者	割り当て
予想時間	ETC (タスク担当者が存在する場合のみ、CA Clarity PPM 内で取得されます)
計画済み(タスク ステータス)	開始前(タスク ステータス)
進行中(タスク ステータス)	開始済み(タスク ステータス)
完了/クローズ(タスク ステータス)	完了(タスク ステータス)
スプリント開始/終了日	タスク開始/終了日(タスクがスプリントに割り当てられている場合)
リリース開始/終了日	タスク開始/終了日(タスクがスプリントに割り当てられていない場合)

タスク作業ログのマッピング

タスク作業ログまたは仮想ウォールを使用して、Agile Vision でタスクに作業時間を入力すると、CA Clarity PPM では以下の更新が行われます。

- 時間を記録するユーザが、[割り当て]ページ上で、リンクされているタスクに担当者として追加されます(CA Clarity PPM タスクに既存の担当者が存在しない場合)。
- 作業時間はタスクの実績値に追加されます。
- 作業時間と残存時間が、CA Clarity PPM 上で、関連リソースのタイムシートの該当する日付に入力されます。

作業ログのマッピング

以下の表には、Agile Vision タスクの作業ログ情報が CA Clarity PPM のタイムシートにどのようにマッピングされるかが示されています。

Agile Vision 作業ログ	CA Clarity PPM タイムシート
Agile ユーザ名/担当者	リソース名
作業時間	1 日単位の記録時間
残存時間	ETC (予想残作業時間)
作業日	タイムシート期間の日付
タスク タイプ	請求コード

作業ログの更新と削除

Agile Vision で作業ログを更新するたびに、対応する CA Clarity PPM のタイムシートが更新されます。ただし、タイムシートが提出済みステータスの場合は更新されません。

CA Clarity PPM のタイムシートで時間を取得した後に、Agile Vision の作業ログを削除することができます。現在、タイムシートが提出されていない場合は、Agile Vision での最新の更新に基づいて更新されます。タイムシートがすでに提出されている場合は、タイムシートの調整が作成されます。

ベスト プラクティス: Agile Vision で時間を記録する場合は、タイムシート同期ジョブが実行されてから CA Clarity PPM でタイムシートを提出します。ジョブは、Agile Vision で最後に記録された時間およびタスクの情報に基づいてタイムシートを更新します。このジョブの週末の実行頻度を増やすようにスケジュールする場合は、CA Clarity PPM の管理者に問い合わせてください。

孤立作業ログ

リソースの作業ログをポストする前に、CA Clarity PPM でプロジェクトからそのリソースを削除した場合、作業ログが孤立します。ポスト先となるリソースが存在しなくなるからです。

このような場合、プロジェクト マネージャは、以下のいずれかのアクションを行うよう、通知されます。

- Agile Vision で作業ログを削除する。
- 時間を記録できるように、リソースを再度プロジェクト チームに追加する。

タスク タイプの請求コードへのマッピング

CA Clarity PPM で請求コードをプロジェクト タスクに割り当てている場合、これらの請求コードを Agile Vision のタスク タイプにマッピングできます。タスク タイプを請求コードにマッピングすると、リンクされたタスクの実績値に適切な請求コードを割り当てることができます。

プロジェクト マネージャが、タスク タイプを請求コードにマッピングし、[Agile Vision タスク タイプの自動入力]プロセスを実行する場合、以下のグローバル アクセス権とインスタンス アクセス権が必要です。

- タスク タイプおよび請求コード マッピング - 作成
- タスク タイプおよび請求コード マッピング - すべて編集
- プロセス開始

ベスト プラクティス:

- 請求コードのマッピングを誤って削除した場合、[Agile Vision タスク タイプの自動入力]プロセスを手動で実行すると、削除したマッピングを復元できます。

詳細については、「CA Clarity PPM 管理ガイド」を参照してください。

- タスク タイプは、1 つの請求コードにしかマップできません。Agile Vision でタスクにタスク タイプが定義されていない場合は、CA Clarity PPM で既定の請求コードを割り当てることができます。

タスク タイプを請求コードにマップする方法

1. CA Clarity PPM で、リンクされたプロジェクトを開きます。
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. コンテンツ メニューから[Agile Vision タスク タイプ マッピング]をクリックします。
[Agile Vision タスク タイプ マッピング]ページが表示されます。
3. [新規]をクリックします。
マッピングの作成ページが表示されます。
4. 以下のフィールドに情報を入力し、提出します。

タスク タイプ

タスクに Agile Vision のタスク タイプを定義します。

請求コード

同じタスクに CA Clarity PPM の請求コードを定義します。

第 3 章: ジョブ管理

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[ジョブ サマリ](#) (31 ページ)

[Agile Vision プロジェクト同期ジョブの詳細](#) (32 ページ)

[Agile Vision タイムシート同期ジョブの詳細](#) (33 ページ)

[サードパーティ ライセンス契約](#) (35 ページ)

ジョブ サマリ

CA Clarity Agile Enterprise アドインをインストールすると、Agile Vision のプロジェクト同期ジョブと Agile Vision のタイムシート同期ジョブが利用可能になり、アクティブになります。既定では、これらのジョブは、事前定義された時間 (毎日午前 9: 00) に自動的に実行され、CA Clarity PPM と Agile Vision 間で情報を転送するようにスケジュールされています。これらのジョブの既定のスケジュールは、ユーザの組織のニーズに合うように変更できます。また、ジョブを直ちに実行して、Agile Vision または CA Clarity PPM からデータを移動することができます。

ジョブのスケジュールと実行方法の詳細については、「CA Clarity PPM 管理ガイド」を参照してください。

制限

Agile Vision の同期ジョブは、以下の CA Clarity PPM ジョブと同時に実行できません。

- タイムシートのポスト
- タイム スライス付け
- レート マトリクスの抽出
- アーンド バリュース合計の更新
- アーンド バリュース履歴の更新

Agile Vision プロジェクト同期ジョブの詳細

Agile Vision プロジェクト同期ジョブでは以下を同期します。

- プロジェクトとリソース(CA Clarity PPM から Agile Vision へ)
- タスク(Agile Vision から CA Clarity PPM へ)

プロジェクト同期の詳細

CA Clarity PPM では、このジョブにより Agile Vision サブページの以下のフィールドが自動入力されます。

- Agile Vision プロジェクト名
- Agile Vision リリース名

Agile Vision では、このジョブにより、リリース開始日とリリース日が、CA Clarity PPM のプロジェクト開始日/終了日で置換されます。

ベスト プラクティス: 他の多くのプロジェクトが成功しても、1 つのプロジェクトが失敗すると、プロジェクト同期ジョブは、「失敗」ステータスを返します。「失敗」ステータスは管理者に、1 つ以上のプロジェクトに注意が必要なことを通知します。このステータスは、すべてのプロジェクトが失敗したことを意味するわけではありません。失敗したプロジェクトとその原因を確認するには、同期ジョブのログ ファイルを参照してください。

リソース同期の詳細

Agile Vision では、リソースが既存の SFDC ユーザではない場合、ジョブによってユーザが作成されます。

以下のフィールドが CA Clarity PPM から取得されます。

- 名
- 姓
- 電子メール
- ユーザ名

タスク同期の詳細

CA Clarity PPM では、Agile Vision のスプリント、ユーザ ストーリーおよびタスクの情報を基に、プロジェクトのタスク ワーク ブレークダウン ストラクチャの以下がジョブによって自動入力されます。

- 要約タスク
- 詳細タスク
- 未スケジュール タスク

Agile Vision タイムシート同期ジョブの詳細

Agile Vision タイムシート同期ジョブにより、Agile Vision のタスク作業ログを基に CA Clarity PPM の以下が自動入力されます。

- タスクの実績
- タイムシート上で指定された日付の、リソースの作業時間と ETC

タイムシート同期ジョブを実行するたびに、CA Clarity PPM でタイムシートに行った変更は上書きされます。ただしこれは、タイムシートのステータスがオープンである場合に限りです。

ベスト プラクティス: Agile Vision で行ったすべての更新や変更は、タイムシート同期ジョブの実行によって、CA Clarity PPM で更新させるようにします。Agile Vision タスクを CA Clarity PPM タイムシート内で更新する必要はありません。

付録 A: サードパーティ ライセンス契約

Dojo Toolkit 1.3.1

This product includes Dojo Toolkit 1.3.1 software, which CA has elected to distribute in accordance with the following terms:

Copyright (c) 2005-2009, The Dojo Foundation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Dojo Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

JSON 1.0

This product includes JSON 1.0 software, which CA distributes in accordance with the following terms:

Copyright (c) 2002 JSON.org

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

The Software shall be used for Good, not Evil.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

jquery 1.3.2

This product includes jquery 1.3.2 software, which CA has elected to distribute in accordance with the following terms:

Copyright (c) 2009 John Resig, <http://jquery.com/>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

索引

A

Agile Vision と CA Clarity PPM 間のデータ転送、
設定 - 20

か

概要

Agile Vision と CA Clarity PPM との統合につ
いて - 7
サポート - iii
同期ジョブ - 7

さ

ジョブ

Agile Vision タイムシート同期 - 33
Agile Vision プロジェクト同期 - 32
概要 - 31
制限 - 31

た

タスク

更新 - 26
作業ログの更新 - 28
作業ログの削除 - 28
作業ログのマッピング - 28
削除 - 26
タスク タイプの請求コードへのマッピング - 30
マッピング - 26

統合

CA Clarity PPM の設定 - 18
CA Clarity PPM プロジェクトの Agile Vision へ
の関連付け - 19
アドインのインストール - 10

は

プロジェクト

統合のルール - 20
マッピング - 25

ら

リソース

Agile Vision から削除 - 25
Agile Vision で作成 - 25
マッピング - 25